第五十九回帝國議會貴族院

關稅定率法中改正法律案特別委員會議事速記錄第三號

付託議案

關稅定率法中改正法律案（衆第三號）

關稅定率法中改正法律案（衆第四號）

昭和六年三月二十四日（火曜日）午後一時五十九分開會

○委員長（男爵東郷安君） 是ヨリ開會イタシマス、チョット速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○委員長（男爵東郷安君） 速記ヲ始メテ……御質問ゴザイマスナラバ此際……

○横山章君 チョット御伺ヒ致シマスガ、保稅倉庫ハ政府ト致シマシテハ、今後ニ於テ許可ニナル御積デゴザイマスカ、マダマダ殖ヤスト云フノデゴザイマスカ、如何デゴザイマスカ

○政府委員（小川郷太郎君） 保稅工場ノ御話ダラウト思ヒマスガ、人絹ニ付テノ保稅工場デゴザイマスガ、今日迄モ保稅工場ニ付キマシテハ色々ナコトヲ考慮イタシマシテ、之ヲ決スルコトニ致シテ居リマス、尚ホ衆議院ニ於キマシテモ、當院ニ於キマシテモ、此問題ニ關聯イタシマシテハ、政府ハ極メテ愼重ナル態度ヲ以テ善處イタシタイ、斯ウ云フ風ニ申上ゲテ居ルヤウナ次第デアリマス、人絹製造業ノコトモ考ヘナケレバナリマセヌシ、又人絹織物業モ考ヘナケレバナリマセヌデスカラシテ、總テ事ノ宜シキニ從ッテ愼重ニ決シタイト考ヘマス

○横山章君 衆議院ノ附帶決議ヲ拜見シマスルト云フト、絕對ニ保稅工場ハ廢メテ貰ヒタイト云フ意見ガ出テ居リマスガ、ソレニ對シテ現在御許シニナッテ居リマスル保稅工場ニ對シテ、多少ノ打擊ヲ與ヘルモノデゴザイマセウカ、ドウ云フモノデゴザイマセウカ

○政府委員（小川郷太郎君） 衆議院ノ附帶決議ニ付キマシテハ、衆議院ノ關稅定率法中改正法律案ノ特別委員會ノ意思表示トシテ聞イテ居リマシタ譯デ、之ニ對シマシテ政府ガ其決議其モノニ對シテドウシヤウト云フコトヲ申上ゲテ居リマセヌ、併シ大體ノ方針ト致シマシテハ、今私ノ申シマシタヤウニ、本會議ニ於キマシテモ愼重ナル態度ヲ以テ善處シヤウト云フコトヲ申上ゲテ居ル譯デス、今日ノ保稅工場ハ人絹ニ關シマシテハ六ツ程アリマス、尚ホ其同ジ人絹織物ヲ染メル方ノ工場ハ別ニアリマスガ、人絹織物ノ工場ト致シマシテハ六ツデアリマス、ソレガ織出シマス數量ハマダサウ大シタモノニハ達シテ居リマセヌデス、只政府ハ此斯ウ云フヤウナ保稅工場ヲ無限ニ許シテ居リマスト、相當影響ガ大ナルモノニナリハセヌカト考ヘテ居ルヤウナ譯デアリマス、ソレデ愼重ナル態度ヲ以テ善處スルト云フコトヲ申上ゲル次第デアリマス、ソレデ今日ノ六ツナンカノ工場ニ付キマシテハ、而モ中ノ二ツ位ノモノハ極メテ最近ノコトニ屬シテ居リマスデゴザイマスカラ、サウ著シイ影響ト云フコトハナイ譯デアリマス

○委員長（男爵東郷安君） チョット速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○委員長（男爵東郷安君） デハ速記ヲ始メテ……

○横山章君 人絹ニ付キマシテ現在輸入高ハドレ位輸入シテ居リマスカ

○政府委員（小川郷太郎君） 人絹ノ輸入高デスネ

○横山章君 輸入ニ付キマシテモ伊太利カラノ輸入ガ一番多ク入ッテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、ソレハドウ云フ譯デアリマスカ、他ノ國カラモ入ッテ居リマスカ

○政府委員（小川郷太郎君） 人造絹ノ輸入數量ハ昭和三年ニ十九万一千五百七十二斤、昭和四年ニ四十六万八千七百三十六斤、昭和五年ニ六十三万九千四百十斤、ソレヲ稅額ノ方カラ見マスルト、昭和三年ノ輸入稅額ガ二十四万七百十四圓、昭和四年ニ五十八万五千九百十八圓、昭和五年ニ七十九万九千二百六十三圓、サウ云フコトニナッテ居リマス

○横山章君 サウシマスルト何デスカ、其入ッテ居ル國ハ主モニ伊太利デアリマスカ

○政府委員（小川郷太郎君） 伊太利ガ一番主モナルモノデアリマス、伊太利ガ主モナルモノデアリマシテ、今昭和五年ニ付テ申上ゲマスガ、五年ノ今申上ゲマシタ數量ノ中デ、伊太利ガ四十七万八千九十二斤、ソレカラ其次ガ瑞西デアリマシテ七万二千五百五十四斤、其次ガ獨逸デアリマシテ、四万六千百八十一斤ニナッテ居リマス、アトハ殆ド微々タルモノデアリマス

○横山章君 ソレハ日本ノ人絹ト較ベマシテ、餘程安ク入ッテ居リマスカ、ドウ云フコ

トニナッテ居リマスカ

○政府委員(小川郷太郎君)　大體、此伊太利ノガ安イト云フヤウニ考ヘラレマスデスガ、其時……

○横山章君　單價ヲ御聽キシタイノデス

○政府委員(小川郷太郎君)　昭和五年ニハ伊太利ノハ百斤デ百三十七圓ニナッテ居リマス、ソレカラ瑞西ガ百八十四圓、獨逸ガ百七十二圓ト云フコトニナッテ居リマス

○根津嘉一郎君　チョット伺ヒマスガ、其二百九十號ト云フノヲ百二十五ヲ七十五ニ改ムト云フノハ、是ハ人絹ノ輸入ヲ成ダケ多クサセヤウト云フコトカラ、下ゲルノデスカ、ドウ云フ意味カラ百二十五ヲ七十五ト云フヤウニ引下ゲルト云フノハ、ドウ云フ理由デアルカ、ソレヲ承リタイ

○政府委員(小川郷太郎君)　是ハ人絹ノ方ノ關稅ガ百二十五圓ニナッテ居リマスモノヲ七十五圓ニ引下ゲヤウ、詰リ先ヅ四割方引下ゲヤウト云フノデアリマス、デ百二十五圓ノ稅率ニ決マリマシタ時分ハ、明治四十三年位デ、丁度二割七分位ノ從價ノ所ヲ從量稅ニ直シマシタノデアリマシテ……、所ガ今日ノ値段カラ、輸入平均額カラ見マスト云フト、八割五分位ニナルノデス、百斤百二十五圓ト云フモノハ丁度八割五分位ニナッテ非常ニ高イ率ニナッテ居ルノデアリマス、デソレヲ四割方引下ゲマシテモデス、相當保護ノ目的ニハ適ッテ居ルト思フノデ、デ更ニ此稅率ガ斯ウ云フ風ニ高イコトニシテ置キマスト云フトデス、或場合ニ於キマシテハ丁度此關稅ガ一ツノ標準ニナリマスカラシテ、人絹ノ値段ガ非常ニ高イコトガアリ得ルノデアリマスノデ、又最近ニハ人絹ノ製造モ相當ニ多クアリマスルカラシテ、需要供給ノ關係カラ稍〻チョット下ガルコトモアリマシテ、此値段ノ高低ト云フモノガ非常ニヒドイ、ソレガ爲ニ當業者ガ非常ニ苦シムデス、此人絹ヲ原料ニシテ織物ヲシテ居ル者ハ勿論苦シクアリマスガ、關係者ガサウ云フ風ニ値段ノ非常ナ高下ト云フコトハ、皆共ニ苦シム所デアリマシテ、非常ニ又投機的ナ働キモ起ッテ來ル譯デアリマス、ソレデアリマスカラ人絹製造業ノ保護ガ出來ル程度ニ於テ、引下ゲルト云フコトハソレダケ投機分子ガ少クナリ、ソレダケ値段ノ上リ下リト云フモノガ少クナルコトニナリマシテ、堅實ナル商賣ヲヤッテ行クコトニ都合ガ好カラウト、斯ウ考ヘルノデアリマス、デ尙ホモウ一ツノ理由ハ、人絹ノ織物ヲヤッテ居リマス所ニ保稅工場ガ設カルノト設カラヌノガアリマスガ、保稅工場ガ設カッテ居ルモノハ、安イ外國ノ人絹ヲ取ッテ、ソレヲ原料トシテ織物ヲ拵ヘルノデアリマス、其保稅工場ヲ持タナイモノハ、外國ノ人絹ヲ……安イ人絹ヲ使フト云フ譯ニ行キマセヌカラシテ、其間ニ非常ニ不公平ガアル形ニナリマスカラ、今日人絹ノ製造業ヲ脅カサナイ程度ニ於テ、詰リ保護ガ出來ル程度ニ於テ之ヲ引下ゲルト云フコトハ、其保稅工場デ仕事ヲシテ居ルモノト、保稅工場デナイ所デ仕事ヲシテ居ルモノトノ間ノ關係ヲ考ヘテ見マシテモ、都合ノ好イコトデアル、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、サウ云フ色〻ノ事情ヲ酌ミ取リマシテ四割方下ゲル、斯ウ云フコトニナッタ次第デアリマス、ソレデアリマシテモ前ノ之ヲ定メマシタ二割七分位ノ程度ニ於テ、從量稅ヲ盛リマシタ時分カラ申シマスレバ、尙ホモット厚イ保護ニナッテ居ルト云フコトハ言ヘルダラウト思フノデス

○根津嘉一郎君　何デスカネ、此人絹製造業者ト云フモノハ、日本ニモ餘程アルヤウナコトヲ承ルシ、又近頃ハ外國ナドデモ非常ニ人絹ノ値ガ下ッタト云フコトヲ聞キマシタガ、是モ畢竟百二十五ハ値段ガ下ッタカラ引下ゲヤウト、斯ウ云フノデスナ、ソレダカラ內地デ製造所ガアリマス以上ハ、成タケ斯ウ云フノヲ餘リ下ゲズニ、內地ノ製造業者ヲ保護スルト云フ意味デ、下ッテモ此儘置イテハ大變ナ何カ弊害ガアルノデスカ、國ノ爲ニドウ云フ……

○政府委員(小川郷太郎君)　ソレガ只今申上ゲマシタヤウナ風ニ、此今日ノ値段ガ大體下ッテ居リマスカラ、ソレカラ此稅率ヲ比較シテ見マスルト八割五分ト云フヤウナ高イ輸入稅率ニナリマスノデ、ソレハ立法當時カラ考ヘマシテモ、サウ云フコトマデハ期待シテ居ナカッタ、私只今申上ゲルノヲ少シナンシテ居リマシタガ、二割七分ニ當ルト云フノハ、大正十五年ノ關稅定率法ノ改正ノ時デアリマス、其折ハ二割七分位ノ所ヲ見當ニシテ稅率ヲ盛ッタモノガ、今ハ八割五分ニナルノデアリマスカラ、ソレヲ其儘置イテ置ク必要ハナイ、初メノ精神カラ申シマスルト、モットズット下ゲテモ宜イカモ知レマセヌガ、ソコマデハ實ハ下ゲテハ居ラナイ、四割方下ゲルト云フコトニシタ譯デアリマス、ソレデハ保護ガ出來ナイ、人絹製造業ガ非常ニ打壞ハサレルト云フナラバ心配ニナリマスガ、是レ位ノ程度ニ下ゲマシテモ、人絹製造業ガサウ打擊ヲ蒙ルト云フコトハナカラウ、斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレニ前申上ゲタヤウナ風ニ、今ハ人

絹ノ價ガ安イノデアリマスケレドモ、需要供給ノ關係ニ依リマシテ多少荷物ガ少ク、外國ノモノヲ入レナケレバナラヌト云フヤウナコトノ起リマシタ時分ニ、伊太利ノ絲ガ安ク來レバ宜イノデアリマスケレドモ、若シ之ヲ高クスルト云フノデアリマスレバ、税率ノ高イ百二十五圓ト云フモノデ保護セラレタ所デ、入ッテ來マシテ非常ニ高イモノニナリ得ルノデアリマシテ、値段ガ非常ニ高クナル、又或ル場合ハズット低クナル、非常ニ高クナルノト、非常ニ低クナルノト、其波ガ激シイモノガ出テ來マスカラシテ、ソレハ當業者ノ爲ニ宜クナイ、ダカラサウ云フヤウナ大キナ波ノ打タナイヤウニスルニハ、税率ヲモウ少シ引下ゲタ方ガ宜シイ、現ニ福井地方ニ於キマシテモ其人絹ノ價ガ非常ニ波ヲ打ッテ居ルノデアリマスカラシテ、色々ノ原因カラモ來マセウガ、一ツハ輸入税ノ高イト云フノモ其原因ニナルダラウト考ヘマス、從テ之ヲ少シ低クスルト云フコトニ依リマシテ、其波ノ高サヲ低クスルコトガ出來テ、ソレガ人絹織物業者ニハ勿論宜シイノデアリマスケレドモ、總テ關係者ニモ皆取引ガ餘リ投機的ニナラナイヤウニスルト云フコトガ都合ガ好イノダ、之ヲ四割方引下ゲテ、人絹ノ保護ノ目的ヲ達スル上ニ、尙ホ經濟上ノ取引モ都合ガ好イト云フコトデ、旁〻引下ゲテ見タイト考ヘタ譯デアリマス、尙ホ今ノ人絹ノ保税工場ノ有ルノト、無イノト、此權衡ノコトモ考ヘタノデアリマス、サウ云フヤウナ色々ノ事情ヲ考慮イタシマシテ、下ゲベキデハナイカト云フノデ、此提案ヲシタ次第デアリマス

○根津嘉一郎君　伺ヒマスガ、此六百十二號ノ方ハ材木デスネ、是ハ樅トカ椴松トカ、材木ノ輸入税ヲ上ゲルト云フノデスネ、今度ハ上ゲルノデセウ

○政府委員(小川鄕太郎君)　左樣デス

○根津嘉一郎君　其上ゲル理由ハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(小川鄕太郎君)　是ハ昭和四年ノ折ニ木材ノ關税ヲ大體上ゲタノデアリマスガ、其時ニ丁度此問題ニナッテ居ル所ノ樹種ガ際立ッテ低イ税ニナッテ居リマシタリ、又ハ無税ニナッテ居ッタノデアリマス、所デ其後ノ經濟ヲ見マスルノニ、丁度茲ニ問題ニナッテ居ル所ノモノノ輸入ガ非常ニ殖エタノデアリマス、而シテ他ノ方ノ昭和四年ニ改正ヲ致シマシタ税率ヲ多少上ゲタ方ハ、輸入ガドン〳〵少クナッタノデアリマス、ソレデ釣合ガ取レナイ、デ今日デハ輸入ノ上カラ見マシテモ立證ガ出來テ居ルノデアリマスカラシテ、從テソレガ主トシテ是ハ沿海州ノ材木デアリマスノデ、日本ノ樺太材トカ、北海道材トカ云フヤウナモノニ、非常ニ惡イ影響ヲ及ボスト云フノデアリマスカラ、ソレデ釣合ノ取レルヤウニシヤウト云フ一ツノ權衡論カラ出テ來マシテ、茲ニ斯ウ云フヤウナ改正案ヲ提案シタ次第デアリマス

○根津嘉一郎君　私ノ質問ハモウアリマセヌ

○委員長(男爵東鄕安君)　諸君ニ御諮リ致シマスガ、稻畑勝太郎君カラ委員外デアルガ質問イタシタイト云フコトデアリマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵東鄕安君)　ソレデハドウゾ……

○委員外議員(稻畑勝太郎君)　私ハ委員外ノ者デアリマスガ、皆サンノ御許シヲ得テ質問ヲスルコトニ致シマス、丁度人造絹絲ノ關税引下ノ問題ガ本委員會ニ現レテ居リマスノデ、此機會ニ於テ私ハ商工大臣ニ質問シタイト思フノデアリマスガ、商工大臣ハ他ニ御多忙デモアラレマセウカラ、商工省ノ御掛リノ方モ御出デニナッテ居リマスカラ、ドウゾ商工大臣ニ御傳ヘヲ願ヒタイト思ヒマス、實ハ此日本ノ絹絲ト云フモノハ、申ス迄モナク我國ノ最モ重要ナル物産デアルノデアリマス、所ガ各國ニ於キマシテモ、自國ノ重要ナル物産ノ名稱ハ、模造品ニ紛ラハシキ名稱ヲ付ケテ需要者ニ誤解ヲ與ヘルト云フコトヲ非常ニ注意シテ居ルノデアリマス、例ヘバ佛蘭西ノ重要物産タル葡萄酒、此葡萄酒ハ葡萄ノ液汁カラ醱酵シタ酒ヲ名ヅケテ葡萄酒ト云フノデアリマスガ、是ガ混成酒トナッテ葡萄酒ト同ジモノガ出來マシテモ、人造デ出來タモノハ、是ハ葡萄酒ト云フ名ヲ付ケサセヌ、「ワイン」ト云フ名ヲ付ケサセナイ、人造葡萄酒ハ……詰リ佛蘭西デハ之ニ葡萄酒ト云フ名ヲ付ケサセヌ、人造葡萄酒ト云フ名ヲ付ケサセヌノデアリマシテ、「ピケット」ト云フ名ヲ付ケテ居リマシテ、此「ワイン」トハ名稱ガ異ッテ居ルノデアリマス、此人造絹絲ガ千九百年ノ巴里ノ萬國博覽會ニ「シヤードネー」ガ發明シテ現レタ時ニハ「アーチフイシヤル・シルク」ト云フ名前デ現レマシタガ、今日ハ「レーヨン」トカ外國ニ於テモ他ノ名前ヲ付ケテ居ルヤウニナッタノデアリマス、然ラバ我國ノ重要物産タル絹絲ニ紛ラハシキ所ノ模造品ヲ人造絹絲ト云フ名ヲ付ケルト云フ

コトハ、我國ノ重要品ヲ保護スルト云フ點カラシテ、甚ダ不利益デハナイカ、現ニ葡萄牙ノ如キハ丁度我國ト葡萄牙ノ通商條約ヲ今ダニ結ベナイト云フ其原因ハドウデアルカト申シマスト、「ポルト」デ出來ル「ワイン」、「ポート・ワイン」、此葡萄酒ノ名前ヲ外國ニ於テ付ケルト云フコトヲ許サヌ、即チ葡萄牙ノ「ポルト」ト云フ島デ生產スル所ノ葡萄酒デアルカラ、此「ポート・ワイン」ト云フ名前ヲ、他國デソレヲ付ケルト云フ國トハ通商條約デスラ結バヌ、斯ノ如クニシテ自國ノ重要物產ト云フモノヲ保護シテ居ルノニ、我國ノ此絹絲ト云フモノニ紛ラハシキ人造絹絲ト云フ名前ヲ付スト云フコトハ甚ダ需要者ニ誤解ヲ與ヘルコトニナリ、不利益デナイカ、故ニ宜シク絹絲ニ對シテハ絹絲、ソレカラ人造絹絲ト云フ名稱ヲ省イテシマフ、之ガ名稱ヲ付ケルコトヲ國法ニ依ッテ禁止シテシマッテ、或ハ「レーヨン」トカ其他ノ名稱ヲ付ケル御考ハ商工大臣ニ有ラセラレヌノデアルカ、又今其御考ガ無ケレバ御研究ノ上、我ガ此重要物產ヲ保護スル爲ニ、紛ラハシキ模倣品ニ對シテ類似ノ名稱ヲ付ケルト云フコトヲ禁止スルト云フコトノ研究ヲ願ヒタイト私ハ思フノデアリマシテ、此機會ニ一言イタシタイト思フノデス、尙ホ重ネテ申ス迄モナク人造絹絲ト云フモノト、天然絹絲トハ全然性質ガ違フノデアリマシテ、一方ハ植物性デアル、此植物性ト動物性トノ性質ガ違フノデアリマスカラ、サウシテ見ルト云フト、丁度佛蘭西ノ葡萄酒ヲ混成酒デ造ルヨリモ、モット性質ノ離レテ居ルモノデアルノデアリマスカラ、我ガ重要ナル物產ヲ保護スル爲ニハ特別ノ御研究ヲ願ッテ、此目的ニ進ムヤウニシテ戴キタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレカラモウ一ツ此委員會ノ議ニ上ッテ居リマスノハ保稅工場デアリマスガ、只今大藏次官ノ御話ニハ保稅工場ヲ今後許スト云フコトニ付テハ愼重ノ……

○**委員長（男爵東鄕安君）** チョット御話中デスガ……速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○**委員長（男爵東鄕安君）** 速記ヲ始メテ……、ソレデハ是デ休憩スルコトニ致シマス

午後二時三十四分休憩

午後三時二十四分開會

○**委員長（男爵東鄕安君）** ソレデハ是カラ開會イタシマス

○**委員外議員（稻畑勝太郞君）** 保稅工場ニ付テチョット質問イタシタイト思ヒマス、先刻政務次官ノ御話ニハ、保稅倉庫ヲ今後許スノニハ愼重ナ態度ヲ以テ許可ヲセラレ、或ハ愼重ナル態度ヲ執ルト云フ御話デゴザイマシタガ、是ハ御尤ナコトト思フノデアリマス、大體外國ニ於テ保稅倉庫ナドヲ設ケマスノハ、自國ニ生產シナイト云フヤウナ原料ヲ加工シテ、又輸出スルト云フヤウナモノニ保稅工場ト云フモノガ行ハレテ居ルノデアリマスガ、我國デハ此人造絹絲ト云フモノハ立派ナ工場ガ立ッテ居ルノデアリマスカラシテ……、ソレニ往々外國カラ……相手國デ出來ル製品ニ對シテハ往々不當廉賣ヲヤル、是ガ今日ノ各國ノ工業國ノ工業政策ニナッテ居ルヤウニ思フノデアリマス、例ヘバ自國デ出來ルモノハ自國デ高ク賣ル、サウシテ其餘ッタモノハ輸出スル、輸出スルノニハ自國ノ相場ヨリモ安ク賣ルト云フ方針ヲ採ッテ居ル、モウ一ツ其國ニ製造所ガアレバ、其工場ノ製品ト競爭スル、競爭スル爲ニ往々不當廉賣ヲヤッテ行クト云フヤウナ傾ガアルノデアリマスカラシテ、此保稅工場ト云フモノヲ許可ニナル際ニハ、餘程ノ愼重ナル態度デ御調查ノ上デナイトイカナイト私ハ思フノデアリマス、玆ニ伺ヒタイノハ、染色工場ガ保稅工場ニナッテ居ル、染色工場モ矢張リ輸出品ヲ染色スル爲ニ、或ハ私ノ想像スル所ニ依レバ、織物消費稅ノ稅金ノ手數ヤ何カヲ省ク爲ニ、染色工場ハ保稅倉庫ニナッテ居ルノカト思ヒマス、若シ染色工場ガ保稅工場ニナッテ居ル理由ガ、保稅工場ニシナケレバナラヌト云フ理由ガ外ニアリマスルカ、如何デゴザイマセウカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、若シ消費稅ノ手續ヲ省ク爲ノ必要上、染色工場ヲ保稅工場ニ爲サルト云フモノデアッタナレバ、寧ロ織物消費稅ト云フモノヲ御撤廢ニナル方ガ簡單デナイカト云フノデアリマス、何故ナレバイツモ染色工場ハ保稅工場ニナッテ居ルガ、他ノ人絹ヲ拔ヒ輸出品ヲ拔ッテ居ル所ハ保稅工場デナイト云フコトハ、甚ダ其許可ヲ得ナイ所ノ工場ト云フモノハ非常ニ迷惑スル次第デアリマシテ、先刻、政務次官ノ御話ニモ、適當ニ保稅工場ノ恩惠ニ浴シテ居ラヌト云フモノヲ保護スル爲ニ關稅ヲ下ゲルト云フコトデアリマスルガ、單リ人絹ノミナラズ、人絹ダケハ……人絹織物ダケハ輸出スルノニハ、保稅工場ヲ設ケラレテ、染色工場ハ其恩惠ニ浴シテ居ル、併シ他ノ輸出ヲ爲スモノハ輸出ヲ爲ス……單リ人造絹絲ニ止マラズ、外ノ織物ニ於テモ輸出ヲシテ居ルモノハ澤山アルノデアリマス、原料ハ外國カラ輸入シテ、加工シテ輸

出スルト云フ織物ハ澤山アル、其織物ニハ保稅工場ノ恩惠ニ浴シナイ、又同ジ人絹ヲ染メテ居ル工場デモ保稅工場ノ恩惠ニ浴シテ居ル工場ト、又浴シテ居ナイ工場トアル、是等ノ不公平ノナイヤウニスルノニハ、ドウ云フ方法ヲ御執リニナッテ居ルカ、之ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(立石信郎君) 只今人絹ト云フ名稱ハ、天然絹絲ヲ冒瀆スルト云フヤウナ意味カラ、サウ云フ名稱ハ止メテ、「レーヨン」ト云フヤウナ名稱ハナイカ、外ニサウ云フ名稱ヲ付ケルヤウニサシテ貰ヘナイカト云フ御話ノヤウデアリマシタガ、至極御尤ノ御意見トハ考ヘマスガ、此問題ハ相當關係スル所モ深イト思ヒマス、必シモ人造絹絲ノミナラズ、或ハ人造藍デアルトカ、人造「バター」デアルトカ色々ナ問題ニモ影響スル問題デアリマスシ、又如何ニシテサウ云フ名稱ヲ使フコトヲ止メサセルカト云フ方法ニ付テモ相當研究ヲシナケレバナラヌ問題ト思ヒマス、併シ御意思ノ在リマス所ハ能ク商工大臣ニモ傳ヘマシテ、能ク研究イタシタイト考ヘテ居リマス

○政府委員(小川鄕太郎君) 稻畑サンノ最後ノ御話ガ私ニ了解シニクイ所ガアリマスノデ、若シ答辯ガ違ッテ居リマスナラバ重ネテ御質問ヲ願ヒタイノデアリマス、人絹ノ方デ保稅工場ヲ許シテ居リマス、更ニ此染色工場ヲ保稅工場トシテ許シテ居ルノデアリマス、ソレハ外國カラ這入ッタ原料、人絹ノ原料ヲ織物ニシマヌ普通ノ保稅工場デアリマスガ、ソレハ輸入シタモノト見テ居ナイノデアリマスカラ、更ニソレヲ染メテ輸出スルト云フコトデアリマスレバ、染メル方モ保稅工場トシテ認メルト云フヤウナコトニナリマシテ、ソレデ染色工場ガ保稅工場ニナッテ居ルノデアリマス、併シ殆ド同ジヤウナ系統ノ會社デアリマシテ、片方ハ織物、片方ハ染色ト云フヤウナノガ中ニアリマス、ソレヲ昨日カラ申シテ居リマスガ、今日マデ織物工場トシテ六ツ許サレテ居リマシテ、染色工場トシテ三ツ許サレテ居ルノガアルノデアリマス、尙ホ外ノ方ノ人絹ニ非ザルモノノ保稅工場ニ付テノ御話ガアッタヤウデアリマスガ、チョットソコガ能クハッキリ了解出來ニクイノデアリマス、ドウ云フ趣旨デゴザイマスカ

○委員外議員(稻畑勝太郎君) 第一、私ノ質問シテ居リマスノハ、人絹ヲ染色スルノニ保稅工場ガ設ケラレテ居ル、他ノ人絹ヲ染色シテ居ル工場デ保稅工場ノ許可ガナイ、サウスルト織物消費稅ノ稅ヲ徵收サレ、色々ノ檢査ヲ受ケテソレヲ適用サレルノデアリマス、ソレニ付テ許可ヲ受ケテ居ラヌ染工場ト、受ケテ居ル工場トガ不公平ガ出來ヤシナイカト云フコトガ私ノ質問ノ一ツデアリマス、ソレカラモウ一ツハ若モ只輸出品ナルガ故ニ染色工場ニ保稅工場ヲ御許シニナルモノデアルナラバ、人造絹絲以外ノ輸出品デ外國カラ原料ヲ輸入シテ加工シテ輸出スルモノデモ保稅工場ヲ御許シニナラナケレバナラヌトコニナリヤシナイカ、此二ツノ質問ヲシテ居リマス

○政府委員(小川鄕太郎君) 其消費稅ノコトハ保稅工場ニハ關係ガアリマセヌノデアリマス、外國カラ這入ッテ來ルトシマスレバ、輸入稅ガ掛カルノデアリマスガ、保稅工場ハ外國カラマダ輸入シタモノトモ見テ居リマセヌデスカラ、輸入稅ノ問題モ起リマセヌ、又此織物消費稅ト云フヤウナ問題モ起ッテ居ナイ、外國カラ原料ガ這入ッテ其原料ニ加工イタシマシテ外國ヘ復タ出スノデアリマスカラシテ、織物消費稅ノ問題モ起ッテ來マセヌ、內地デ消費スルト云フコトニナッテ初メテ織物消費稅ノ問題ガ起ッテ來ルノデアリマス、ソレカラ次ニ人絹以外ノ物ニ付テノ保稅工場デアリマスガ、是ハ保稅工場ヲ外ノ方ニ於テモ認メナイノデアリマセヌ、矢張リ保稅工場法ト云フモノガアル限リ相當ニ許サレテ居リマス、他ノコトハ一々例ヲ申上ゲル必要モアリマセヌ、保稅工場ガ現ニ在ル譯デアリマシテ、但シ其保稅工場ヲ許ス許サヌト云フコトニ付キマシテ人絹デ大變問題ガ起リマシテ、衆議院ノ方ニ於キマシテモ此希望附帶決議ガアッタノデアリマスカラ、ソレニ付テ政府ハ許スカ許サヌカト云フコトニ關シテ、ドウ云フ態度ヲ執ルカト云フコトデ、其態度ヲ申上ゲテ居ルヤウナ譯デアリマス、保稅工場ヲ、保稅工場法ガアル限リハ、ソレノ運用ト致シマシテ、其法律ノ運用ト致シマシテ絕對ニイケナイト云フ譯ノモノデモナイ、只內地ノ產業ノ發達ト云フヤウナコトカラ色色考ヘテ人絹ノコトニ付キマシテ愼重ナル態度デ善處シナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、其事ヲ今マデ申上ゲテ居ルヤウナ次第デアリマス、他ノ保稅工場ニ付キマシテハ又是ハ制度論トカ何カハ同ジデアリマスガ、別問題トナリマスノデ、今此處デ人絹ニ對シテ居ルヤウナ問題ヲ、盡クソレヲ他ノ問題ニ當嵌メルカト云フニ、是ハ必シモサウデハアリマセヌ、只飽ク迄モ申シテ置キマスガ、人絹ニ付キマシテハ人絹製造業者ト人絹織物業者

トノ兩方ヲ能ク考ヘテ宜シキニ從ハウ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(男爵東郷安君)　木材竝ニ人絹ニ對シテノ質問ハ終了シタト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵東郷安君)　ソレデハ是デ質問ヲ打切リマシテ、次ハ御意見ガゴザイマシタナラバ、御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

〔副委員長子爵綾小路護君委員長席ニ著ク〕

○副委員長(子爵綾小路護君)　チョット速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○副委員長(子爵綾小路護君)　速記ヲ始メテ……

○男爵東郷安君　私ハ此機會ニ大藏當局ヘ書類ヲ要求シタイト思フノデアリマス、但シソレハ會期中ニ間ニ合ハナイト思ヒマスカラ、成ベク近キ將來ニ於テ參考ノ爲ニ御提出ヲ願ヒマス、ソレハ現在ノ保稅工場製品表デアリマス、貿易年表ノ記載スル所ニ依リマスト、昭和三年マデハ判明シテ居リマスケレドモ、四年五年ノ分ガ掲記シテアリマセヌ、之ヲ一ツ御願ヒシタイノデアリマス、ソレカラ次ニ人絹其他ニ關スル贅澤關稅ノ表デアリマスガ、十割課稅ノモノトハ贅澤品ト看做スベキモノト、此ノ二ツニ分ケテ、大正十三年ノ贅澤關稅實施前二箇年カラ昭和五年度ニ至リマスル分ヲ各品別ニ統計ヲ御願ヒシタイ、品別及其價格……ソレカラ此機會ニ私ハ此問題ニ付キマシテ出來ルダケ端折ッテ簡單ニ私ノ意見ヲ述ベサシテ戴キタイト存ジマス、兩案ノ中、人絹ニ關スル問題ハ只今御覽ノ通リ、單ニ一行、稅率ヲ改正スル、引下ゲルト云フノデ、極メテ簡單ノヤウニ見エテ居リマスケレドモ、是ハナカ〳〵重大ナ問題デアルト思フ、殊ニ此人絹ノ絲ノミニ關スル問題デハナク、是ハ人絹ヲ原料トスル織物、殊ニ輸出織物ニ關スル問題デ、此關稅率ヲ定メル上ニ於テハ此兩方ヲ併セ考ヘナケレバナラヌ、又市場カラ申シマシテモ、單ニ內地製品トノミ之ヲ考ヘルノデナク、內外兩市場ニ亙リ其稅率ノ關係ヲ考慮シテ、初テ此關稅率ヲ引下ゲルト云フコトガ妥當デアルカ、ドウデアルカ、而シテ其數字ガ適切ナモノデアルカドウカト云フコトヲ判斷シナケレバナラヌト思フ、ソコデ委員會ニ於テ先ヅ以テ御質問ゴザイマシタ稅率ノ算定ノ基礎デアル今日ノ人絹ノ生產費如何ト云フ問題ニ付キマシテ當委員會ノ或ル御方カラ人絹工業ノ前途頗ル有望デアッテ、是ガ獎勵發達ハ內地ニ於テ多大ナル勞銀其他ヲ獲得シテ、而シテ是ガ世界的ノ產物トナルカラ、大ニ獎勵スベシト云フコトデアル、此點ニ付テハ全然異議ノナイ所デアリマスガ、唯現ニ諸君ノ御耳ニ入ッテ居リマス通リニ、人絹製造業者ガ今日宣傳シテ居ル程ソレ程、又政府ノ御考ヘニナッテ居ル程ソレ程、人絹製造業ハ現狀ニ於テ日本ハ取分ガ多イカドウカ、外國ニ出スベキモノガ少クテ、日本ノ取分ガ多イカドウカト云フコトヲ能ク研究シテ見マスト、必シモ人絹製造業者ガ誇大ニ吹聽スル程ノモノデハナイ、之ヲ極ク簡單ニ申上ゲマスレバ、內地人絹ノ製造工程ニ於キマシテハ「パルプ」以外ハ殆ド內國產物及其加工、卽チ勞力ヲ加ヘテ出來ル、斯ウ言ッテ居リマスガ、其生產費中ノ主ナルモノデアル藥品、殊ニ苛性曹達其他ハ相當外國品ガ入ッテ、之ヲ使ハナケレバナラヌ、其「パーセンテーヂ」ニ於テハ約二割五分ト云フコトニナッテ居リマス、又織物トシテ出ス以上ハ、工賃以外ニ、先キ稻畑君ノ御話シニナリマシタ染料等、相當大ナル割合ニ於テ外國ノ物ヲ使ハナケレバナラヌノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、現況ニ於キマシテ、マダ內地ノ取分ガ非常ニ多イト云フコトハ言ヘナイノデアリマス、況シテ外國人ノ莫大ナル給料ヲ加算シタナラバ、是ハ甚ダマダ日本トシテハ將來發達シ、此點ニ付テハ考慮シナケレバナラヌ、而シテ出來ルダケ日本ノ取分ヲ餘計ニシナケレバナラヌト云フコトニ相成ルト思フノデアリマス、併ナガラ私ハソレダカラ外國人絹ヲ取入レテ宜シイト云フ議論ヲ申スノデハナイノデアリマス、餘リニ人絹業者ノ言フコトバカリヲ御信ジニナッテ、此點ヲ過信サレルト云フト、却テ問題ノ見方ヲ誤ルト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、政府ニ於テモ當業者ニ於テモ、人絹製造ノ上ニ將來如何ニシテ人絹カラ其織物ヲ拵ヘル迄ノ生產工程ヲ經濟化シ、合理化シ、國產化スルト云フコトニ付テ御考慮ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ意味デアリマスルカラ、是ハ誤解ナイヤウニ先ヅ以テ御了解ヲ願ッテ置キタイト思ッテ居リマス、ソレカラ問題ノ中心トナリマシタ保稅工場ニ關シテ申上ゲタイト思フノデアリマス、大體、私ハ何モ今日存置サレテ居ル卽チ認可サレテ居ル以上ニ數ヲ殖ヤシ、若クハ擴張等ヲ自由ニセヨト云フ論者デハナイノデアリマスルガ、保稅工場ヲ存置スルニ付テモ、決シテ人絹製造業者ガ論ズルガ如ク、之ヲ壓迫シテ、場合ニ

依ッテハ禁止モシタイト云フコトニハ贊成ガ出來兼ネル、今其理由ヲ二三申上ゲタイト思ヒマスルガ、第一ニ內地ノ人絹ノ價格ヲ調節スル機關トシテ此保稅工場ノ存置ト云フモノガ必要デアル、此事ヲ精シク申上ゲマスト、或ハ時間ガ掛リマスカラ、極ク簡單ニ申上ゲマスレバ、今日、福井市場ニ於ケル人絹取引ノ模樣ヲ見マシテモ、若シ絕對ニ外國人絹ヲ入レル途ガナイ、保稅倉庫其他ニ於テ伊太利其他ノ國ノ絲ヲ引ク途ガナカッタナラバ、內地ノ人絹ノ價格ト云フモノハ頗ル橫暴ナル値段ニナッテ、是ガ聽テハ內地ノ消費ハ勿論、外國ノ輸出ヲ阻害スルコトデアル、一部僅少ノ即チ人絹製造業者ノミノ利益ニ傾キ過ギルト云フ虞ガアルノデアリマス、其意味ニ於キマシテモ、保稅工場ト云フモノハ、價格調節機關トシテ存置ヲスルコトニ意義ガアルト思フノデアリマス、ソレカラ第二ニハ等シク人絹ト申シマシテモ、稅率番號ノ中ニハ單ニ人造絹ト書イテアリマスケレドモ、今日ハ其製造方法ガ非常ニ發達イタシマシテ、其品質、用途ニモ各〻差別ガアルノデアリマス、デ外國ノ製造品ノ中ニハ、內地ノ製造會社ニ於テ出來ナイ特殊品ガアルノデアリマス、デ此特殊品ヲ內地ノ保稅工場ニ入レマシテ、內地デ製造スル國內ノ普通ノ人絹ト交ゼ織ヲシテ外國ノ需要ヲ充タス必要モアリ得ル場合ガアル、現ニ是ガアルノデアリマス、然ラバ矢張リ此保稅工場ト云フモノノ一ツノ利用、一ツノ作用ト云フモノヲ茲ニ認メナケレバナラヌト思フノデアリマス、第三ニ兎角議論ガ伊太利ノ「ダンピング」ノ絲ヲ目標トシテ保稅工場取締、若クハ之ニ對スル嚴重ナル態度ヲ論議サレテ居ルヤウデアリマスシ、又當局ノ御覽ニナッテ居ル所モ此範圍ヲ出デナイヤウニ私共ハ窺フノデアリマス、併ナガラ現ニ認可セラレテ居ル保稅工場ノ中ニハ、「ダンピング」ト認メ得ナイ、即チ伊太利絲ニ比シテハ、品質ガ良好デ、價格モ相當ニ高イ絲ヲ使ッテ輸出織物ヲ製織シテ居ル保稅工場ガアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ若シ人絹製造業者ノ今熱心ニ希望シテ居ル如キ此六工場全部ヲ引括メテ之ニ對シテ相當ノ壓迫ヲ加ヘテ呉レト云フコトハ、是等ノ特殊ノ保稅工場ヲモ眼中ニ入レナイ譯デアル、是ハ私ハ甚ダ不公平デアルト思フ、デ既ニ或ル論者ガ述ベラレマシタ如ク、保稅工場ノ目的ハ、內地ニ生産セザルカ或ハ生産スルコト少キ貨物ヲ此工場ニ入レテ加工シ、仲繼貿易ノ振興ニ資セムトスルト云フノデアリマスカラシテ、今ノヤウナ伊太利絲以外ノ、詰リ「ダンピング」ニ依ラザル極ク普通ノ絲、之ヲ具體的ニ申上ゲマスレバ和蘭ノ「エンカ」會社ノ絲ヲ京都ノ或ル保稅工場ニ於テ現ニ使ッテ之ヲ輸出織物トシテ出シテ居ル、之ヲ人絹業者ハ「ダンピング」ノ絲ヲ使ッテ居ルモノト同一視シ、茲ニ衆議院ノヤウナ希望決議ヲ附ケラレルト云フコトハ私ハ是ハ不當デアルト思フ、コヽニ問題ノ複雜サガアルト思フ、ソレカラ第四ニハ一歩讓リマシテ、保稅工場ヲ合法的ニ制限スルコトガ出來ルト致シマシテ、次ニ起ル所ノ問題ハ、是ハ我國ノ產業ニ於テ既ニ太絲綿絲ノ場合ニ於テ經驗シタ所デアリマシテ、內地ノ關稅ガ高イ爲ニ其加工品ノ外國ヘノ進出ガ阻止サレ、其結果ハ山東省及上海附近ニ於テ日本及中華民國ノ資本ヲ以テ盛ニ工場ガ設立サレ、今ヤ其綿布工場モ內地ト同等ノ種類ノ物マデモ出來ルヤウニナッテ、內地ノ太絲綿絲等ニ對シテ相當ノ脅威ヲ感ゼシメルヤウニナッタ、デ支那自身ニ於テモ相當多量ノ輸入ヲ見ルヤウニナッタ、デアリマスルカラシテ此樣ナ場合ヲ考ヘテ見マスルトデス、人絹モ聽テ同ジヤウナ運命ヲ辿ル虞ガアリハシナイカト思フ、即チ保稅倉庫ヲ許サナイ爲ニ、ソレ等ノ資本、ソレ等ノ工業ト云フモノハ內地ヲ去ッテ、對岸ノ支那ニ移ルト云フコトガ起リハシナイカト思フノデアリマス、ソコデ此人絹ガ若シ左樣ナ運命ニナルト云フト、折角今、日本ノ輸出人絹織物ガ佛領印度デアルトカ、香港トカ、新嘉坡、印度、爪哇等ノ市場ニ於テ獲得シテ居ル販路ヲ支那ニ持ッテ行カレルト云フコトニナリ、又更ニ見方ヲ換ヘテ申上ゲマスレバ、即チ第五番目ニ私ノ申上ゲテ見タイト思フノハ、關稅定率法ノ第九條ニ依ル戾稅ノ制度ニ依ッテ保稅倉庫ト同ジヤウナ作用ヲ人絹工業ニ於テ現ニ爲シテ居ルノデアリマス、而シテ之ニ付テハ相當ノ沿革ガアル、然ラバ此場合ニ於キマシテ一方、保稅工場ハ禁止サレテモ、戾稅制度ガ殆ド之ト同ジヤウナ採算手續……煩瑣ノ程度ガ同ジヤウナモノデアルトスルナラバ、此方ニ依ッテ外國ノ資本ガ這入ッテ行ク餘地ガ殘サレテ居ルシ、是ハ我國ノ關稅行政ノ上ニ於テ何等拘束シ得ナイ所ダラウト思フ、是ハドウナルデアリマセウ、此點ニ付テハ私ハ世間未ダ何等ノ議論ヲ聞カナイノデアリマス、即チ一方衆議院ノ希望ノヤウニ、若クハ製造業者ノ希望スルガ如クニシテモ、戾稅制度ニ依ッテヤッタ場合ニ、又問題ガ兎倒ニナルト云フ餘地ガアルノデアル、而シテ戾稅工場ト云フモノハ固

ヨリ大規模ノモノデナクテモ、之ヲ聯絡シ合理化スルコトニ依ッテ、相當人絹ヲ多量ニ製造シ又之ヲ外國ニ輸出シテ其販路ヲ獲得、擴張シ得ル餘地ガアルノモ事實デアリマス、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌ問題ダラウト思フノデアリマス、サウ云フ風ニ考ヘテ參リマスト、單ニ人絹製造業者ノ現在猛烈ニ運動シ高調シテ居ルコトノミニ耳ヲ傾ケルコトハ考ヘモノデアル、決シテ私ハ今ノ重要ナ人絹工業ノ將來ヲ阻止スルモノデナク、益々是ノ振興ヲ希望スルモノデアリマスルケレドモ、餘リニ一方ノ議論ノミヲ聞キ、其方ノ金融資本ノ聲ノミヲ聞クト云フコトハ、我々貴族院トシテハ如何ナルモノデアルカ、今少シ此問題ハ私ガ劈頭ニ申上ゲマシタ通リ、絲ト之ヲ加工スル所ノ織物ト全體ヲ引括メテ、内外市場ニ亙ッテ考ヘナケレバナラヌ問題デアリマストスルナラバ、兩方面、若クハ近キ將來製造シ得ル程度マデノコトヲ考ヘテ見タイト思フノデアリマス、ソコデ私ハ政府ニ對シテモ、現在提出サレテ居ル問題ハ極メテ目先ノ一時的ノ現象ヲ、餘リニ早急ニ御取扱ニナル嫌ガアルト思フノデアリマシテ、是ハ單ニ一時的ノ現象ニ付テ御處理ヲ爲サル程度デアッテ、モット遠大ナ御考、即チ我國ニ興隆セムトスル人絹工業ノ國策ヲ如何ニ御定メニナルカ、又近キ將來ニ於テ必ズ之ヲ定メテ戴キタイト云フ希望ヲ有ッテ居ルノデアリマス、殊ニ先程、綿絲綿布ニ關聯シテ申上ゲマシタヤウナ意味ニ於キマシテ、此種ノ工業即チ人絹工業ノ所謂……日本語ハドウモ分リマセヌカラ英語デチヨット申上ゲマスガ「インテグリテイ・オブ・インダストリー」ト云フ觀念ニ基イテ、鐵ガ丁度鑛石カラ段々熔鑛爐ヲ經、製鐵所ヲ經テ自動車其他機械ニナルト同ジヤウニ、人絹モ之ヲ人絹製造業者ト、ソレカラソレヲ原料トシテ加工スル織物業者、輸出市場、其他ヲズット系統ノ一貫シタ仕事ニシテ、共存共榮、只今ノヤウニ目先保稅工場ト、人絹製造業ノ關係者ガ互ニ利害相容レマセヌケレドモ、之ヲドウニカシテ一ツノ系統、一ツノ利害關係ヲ有スルヤウニ指導シ、統制サレルコトヲ望ミタイノデアリマス、又此一面、世界ノ産物トシマシテ、人絹ニ付テハ種々ナコトヲ考ヘテ見ナケレバナラヌノデアリマス、即チ我國ニ於ケル人絹業者ノ資本系統ハドウデアルカ、之ヲ仔細ニ御檢討ニナリマスルト、如何ニ外國ノ資力ガ這入ッテ居ルカト云フコトガ御分リニナリマス、サウスルトソレニ對スル「ロヤリテイー」ノ問題ヲ又考ヘナケレバナラヌ、是等ノ問題モ我國ノ重要ナル産業ヲ將來統制シテ行ク上ニ於テハ重要ナル論點デハナイカ、觀察點デハナイカト思フ、又世界ノ人絹業ニハ、人絹「カルテル」、殊ニ獨逸ノ人絹「カルテル」ヲ通ジテ世界ノ人絹ト云フモノハ「コントロール」サレテ居ル、サウスレバ日本モ興隆セムトスル人絹業ヲ如何ニ共「カルテル」ヲ通ジテ世界ト足竝ヲ揃ヘ、サウシテ日本モ亦相當海外ニ向ッテ發展シ得ル餘地ヲ作ルト云フ所ニ非常ナ大キナ問題ガアル、ソレデ度々申上ゲルヤウデアリマスガ、當面ノ此關稅定率ノ改正案ト云フモノハホンノ是等ノ對策ヲ講ズル前ノ一手段ニ過ギナイト思フ、デアリマスルカラ私ハ是等ノ問題ヲ近キ將來ニ必ズ政府ガ官民ノ知識ヲ集メテ、鋭意御整理ニナリ、國策トシテ樹立ヲセラレムコトヲ切ニ望ミマシテ、暫ク今回ノ御提案ハ此儘贊成ヲシ、而シテ保稅倉庫ニ對シテハ政府ガ度々御言明ニナリマシタ通リ、又私等モ御尋ネ致シマシタ通リ、國際條約ノ精神ニ違反セザルコトヲ念トシテ、今後善處セラレムコトヲ切ニ希望シテ贊成ノ意ヲ表スル次第デアリマス、甚ダ長クナリマシテ……

○**副委員長（子爵綾小路護君）** 外ニ御意見ハゴザイマセヌカ

〔委員長男爵東郷安君委員長席ニ復ス〕

○**子爵綾小路護君** 私ハ、モウ會期モ明日ニ迫ッテ居リマシテ、時間ガゴザイマセヌ、誠ニ只今貴重ナ時間ト存ジマスルカラシテ、多クノ意見ハ省キマシテ茲ニ皆樣ノ只今マデノ御議論、御質問等ヲ考慮イタシマシテ、大體ニ於キマシテ此案ハ政府ノ提案ノ趣旨竝ニ理由ヲ了承イタシマスルガ、一ツノ希望決議ヲ附シマシテ贊成イタシタイト存ジマス、希望決議

政府ハ人造絹絲ノ内地生産及ビ人造絹織物輸出ノ狀況ニ照シ今回定率法改正ノ主旨ニ鑑ミ將來宜シク適當ニ人造絹織物業者ノ保稅工場ヲ整理スルト共ニ速ニ現行保稅工場法ヲ改正シ重要輸出品ノ内地生産ニ對スル壓迫ヲ一掃セム事ヲ期ス可シ、

尚之レト共ニ改正ヲ加ヘタル木材輸入稅其ノ他一般ノ關稅率ニ就テ考フルモ現行關稅定率ハ去ル大正十五年一般的ニ改正ヲ加ヘラレタル儘其後一部僅少ノ改正ヲ爲シ今日ニ迨ヘリ然ルニ今ヤ當時ニ比シ本邦初メ海外ノ産業狀態ハ著シク發達シ生産量ノ增加生産費ノ遞減實ニ顯著ナルモノアルニ加ヘ更ニ我國ニ於テハ金解禁ノ結果對外爲替關係ニ急變ヲ來シタルヲ以

テ現行定率ハ既ニ制定當時ノ趣旨ニ副ハサルモノ尠カラズ、仍而政府ハ速ニ總括的改正ノ案ヲ樹テ關税率ノ合理化ヲ期スルト共ニ本邦産業ノ基礎ヲ確立スヘシ

斯樣ナ希望ヲ附シタイト思フノデアリマス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵東郷安君) 只今綾小路子爵ノ御申出ニナリマシタ希望決議ニ付キマシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵東郷安君) 御異議ナイト認メマス、木材及人絹ニ關シマスル兩案ヲ束ネテ可否ヲ決シタイト思ヒマス、原案通リ可決シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」「贊成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵東郷安君) デハ決定イタシマス、尚ホ御相談申上ゲマスルガ、此委員會ニ併託ニナッテ居リマスル二ツノ衆議院案ハ引續キ審議ナサイマスカ或ハ明日ニナサイマスカ、御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○西野元君 今日ハモウ時間モ過ギマシタカラ、明日改メテ審議ヲ續ケテ下サルヤウニ願ヒマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵東郷安君) 西野君ノ御說ニ御異存ガナイヤウニ承リマス、本日ハ是デ散會イタシマス

午後四時十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長　男爵東郷　安君

副委員長　子爵綾小路　護君

委員

侯爵西郷　従德君

室田　義文君

西野　元君

根津嘉一郎君

横山　章君

高廣　次平君

委員外議員

稻畑勝太郎君

政府委員

大藏政務次官　小川郷太郎君

農林省山林局長　平熊　友明君

商工省貿易局長　立石　信郎君

昭和六年四月九日印刷
昭和六年四月十日發行
貴族院事務局
印刷者　內閣印刷局